

「亥」年を生きる

フィリピ³章5～14節



「猪突猛进」

- 周囲を考慮することなく、ひたすら前へ突き進むこと。「猪」は、イノシシの意で、イノシシが突き進むさまからいう。
- 「猪突猛进」の人生を送ったひとりの人物。パウロ。
- 彼の生き方に私たちも学ぼう！



フィリピ[°]3章5～14節

わたしは生まれて八日目に割礼を受け、イスラエルの民に属し、ベニヤミン族の出身で、ヘブライ人の中のヘブライ人です。律法に関してはファリサイ派の一員、熱心さの点では教会の迫害者、律法の義については非のうちどころのない者でした。しかし、わたしにとって有利であったこれらのことを、キリストのゆえに損失と見なすようになったのです。



フィリピ³章5～14節

そればかりか、わたしの主キリスト・イエスを知ることのあまりのすばらしさに、今では他の一切を損失とみています。キリストのゆえに、わたしはすべてを失いましたが、それらを塵あくと見なしています。キリストを得、キリストの内にいる者と認められるためです。わたしには、律法から生じる自分の義ではなく、キリストへの信仰による義、信仰に基づいて神から与えられる義があります。



フィリピ³章5～14節

わたしは、キリストとその復活の力とを知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、何とかして死者の中からの復活に達したいのです。わたしは、既にそれを得たというわけではなく、既に完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕らえようと努めているのです。自分がキリスト・イエスに捕らえられているからです。



フィリピ³3章5～14節

兄弟たち、わたし自身は既に捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。



後ろのものを忘れる

- 過去の失敗を引きずらない
 - 過去の罪はすべて清算されている
 - 「主の憐れみは決して尽きない。それは朝ごとに新たになる。」(哀歌3:22-23)
- 過去の出来事にこだわらない
 - 人間関係において
- 過去の栄光に頼らない
 - 「キリストのゆえに損失」である



キリストにある現在

- 主キリスト・イエスを知ることのあらしさ
- キリストの内にいる者と認められ
- キリストを得ること
- キリストへの信仰による義
- キリストとその復活の力とを知り
- 自分がキリスト・イエスに捕らえら

知識

資格

財産

立場

能力



• 何
• 目
• 標
• たい
• ま
• の
• ま
• せ

**不要なものばかり求めて
本当に必要なもの
を見失っていないか！**



猪突猛进

「なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。」

